

問 地方創生は肯定的受け止めに片寄り生活者視点が欠如していないか

答 今までの取り組みも地方創生である

前野由和議員

社会保障の後退、消費増税など暮らしは苦しくなっている。昨年の米価暴落は在庫調整など対策を採らず市場の成り行き任せにした結果だ。今議会提案理由説明は、想いと制度の違いを指摘はしているが住民生活の視点が欠如している。地方創生への期待に多くの紙面をさき、肯定的な評価に片寄っている。認識を問う。

岩崎憲郎町長

大いに期待し、国の地方創生の動きをしっかり捉え取り組みの中に生かしていく。

前野由和議員

困窮を窮めている地方への対策は何度となく叫ばれてきた。平成の合併も一つであり10年が経過したが周辺が取り残され、さらに中心部の衰退につながっている事例が少なくない。

大勢に流されることなく大豊ならではの地についた取り組みを要請する。

岩崎憲郎町長

今までの取り組みも地方創生であり、今から始まるとは捉えていないが、国に対してさらなる提案等を行っていく。

問 倒壊等の恐れのある空き家は、強制力行使も止むを得ないのでは

答 地域コミュニティによって解決することが望ましい

前野由和議員

先の国会で「空き家対策に関する法律」が成立した。管理されず倒壊の恐れがあり、周辺から苦情や相談が持ち掛けられているのではないか。

岩崎憲郎町長

過去に、苦情や要望が寄せられたことがある。

前野由和議員

強制力等法律が求める町がとるべき対策について検討していると思うが。

岩崎憲郎町長

町が法律に基づき公権力を行使し対応するというまでの考えには至っていない。

前野由和議員

本来は地域コミュニティ。

ティにおいて解決すべき問題であるが、時と場合によっては強制力を行使することも仕方がない。町に適した方法で対策を講じるように要請する。

岩崎憲郎町長

法律、条例による強制的な措置を執らなくても、地域コミュニティによって解決することが望ましい。

一般質問

問 社会保障としての国民健康保険制度維持を望む

答 制度の維持は必要である

前野由和議員

病院から町への医療費請求が、利用者負担を超えた金額すべてが県の支払い処理となった。負担増など懸念や不安が多い制度移行がなし崩しに進んでいる。

国民健康保険は事業主負担がなく、低所得者層

の加入も多い。国の支援が後退すれば負担が大きくなる仕組みになっている。

税徴収強化、保険外負担の増大等が懸念されているが、広域化が望ましいとの見解に変化はないか。社会保障としての医療が維持される対応を要請する。

岩崎憲郎町長

すでに広域化の時期も決まっており、国民皆保険という主旨の基、国保制度は住民の医療を守るための制度であり、将来にわたって持続していかなければならない。

前野由和議員

大豊町内に就職したのに住宅が見つからず、町外から通勤することになった。住宅建設、空き家の活用、家賃等への補助など定住への対策をしなければいけない時期に

来ていると思うが取り組みの展望を。

岩崎憲郎町長

空き家、未利用公共施設の活用など対策を検討している。



一般質問

問 農業委員会の改編による公選から任命制への移行は首長による農政支配だ

答 適切な人選を期待する

前野由和議員

農業者の公選代表による地域農政推進から、町長の任命による諮問機関に位置づけられようとしているが見解を問う。



三谷晴喜
農業委員会会長

本町の場合、公選法を

実施しても定員に達するかという懸念がある、今回の改革を前向きに捉え地域における人材を行政の力により発掘していただき任命権者の適切な人選を期待する。

いるところもあるが、本町もそうすべきではないか。

岩崎憲郎町長

労働基準法を遵守し、大豊町一般職の非常勤職員及び臨時職員の任用等

に関する要綱を定め適正に執行している。

一般質問

問 今後の観光をどう推進するのか

答 積極的に取り組む

渡辺則夫議員

今、観光開発協会へは2人の職員を出向させ、2人の国内旅行業取り扱い管理者を雇用し、旅行業事業者の認定を受けてこれから本町の観光を大きく発展させるのかと期待していた。しかし、来年度から資格を持った職員が不在となり、事業者の認定もなくなれば、今後の大豊町の観光はどのようにに発展していくのか。

岩崎憲郎町長

限られた人員の中で、所期の目的に向かって積極的に取り組む。



穴内あけぼの会（田植え）

一般質問

問 臨時職員の立場は守られているのか

答 労働基準法を遵守している

渡辺則夫議員

一般の職員には病気のためだけの有給休暇があ

るが臨時の職員にはそれがない。少ない月給で生活しているのに病気になる

り、出勤できない月には生活が苦しい。他の自治体には病気休暇を設けて